

## 各自のノートPCにおけるC言語プログラミング環境の構築方法

### << 概要 >>

#### <1> 必要なソフトのダウンロード/コピーおよび準備

1. 1 圧縮/解凍ソフトとCコンパイラ用GUIアダプタソフトのダウンロード
1. 2 Cコンパイラのコピー
1. 3 インストールのためのフォルダ作成とファイル整理

#### <2> インストールと設定

2. 1 圧縮/解凍ソフトのインストールと設定
2. 2 Cコンパイラのインストール
2. 3 Cコンパイラ用GUIアダプタソフトのインストールと設定

#### <3> 本ソフトウェア利用にあたっての注意事項

#### <1> 必要なソフトのダウンロード/コピーおよび準備

##### <1. 1> 圧縮/解凍ソフトとCコンパイラのダウンロード

次の2つのフリーソフトをベクター (<http://www.vector.co.jp>) からダウンロードする。

- ・圧縮/解凍ソフト ==> Lhaca デラックス版 1.20 : lhaca120.exe
- ・GUIアダプタソフト ==> CPad for Borland C++Compiler 2.31 : bcpad231.lzh

(ここでは、効率よく2つのソフトを見つけ出すために、キーワードに「Lhaca」や「CPad」と入力して検索する。下図はベクターのトップページから「CPad」で後者のソフトを検索している)



## <1. 2> Cコンパイラのコピー

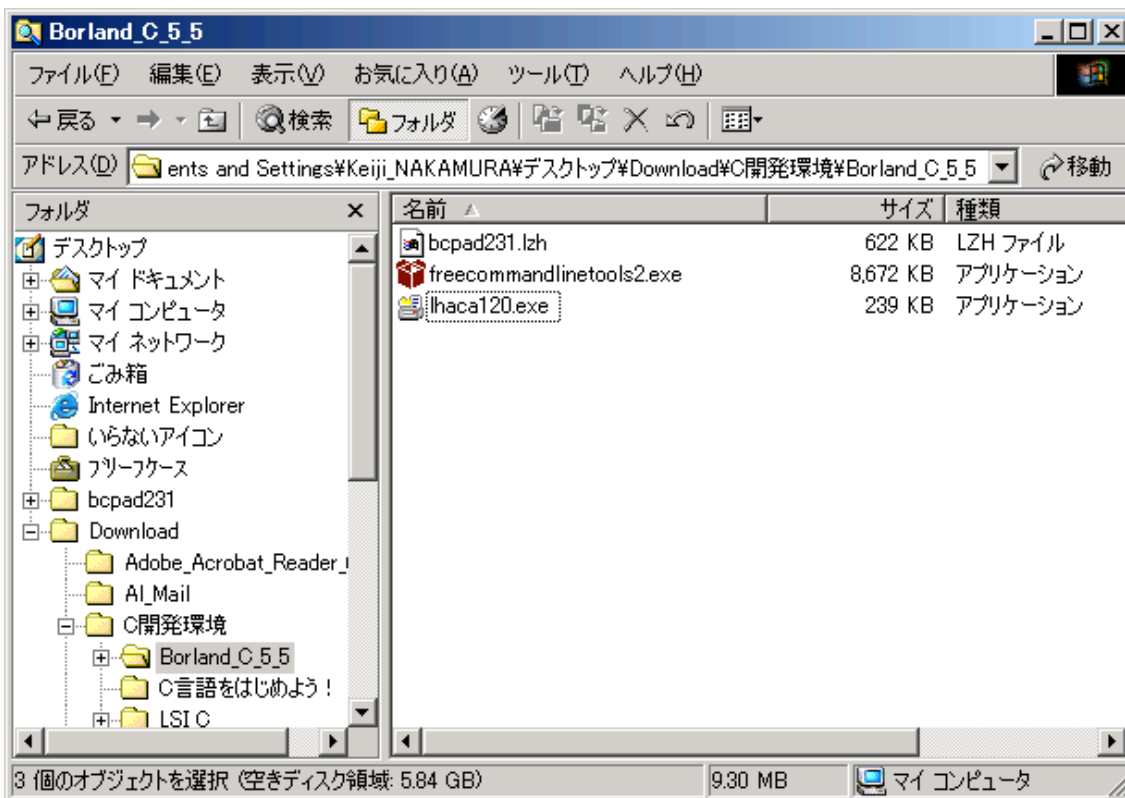
ここでは、ボーランド製の Borland C++ コンパイラを用いる。支給された CD-ROM の中にある下記のファイルをノート PC のハードディスクにコピーする。

- ・ Cコンパイラ ==> Borland C++ コンパイラ : Freecommandlinetool2.exe

## <1. 3> インストールのためのフォルダ作成とファイル整理

デスクトップ上にフォルダを作成し、そこに上述の3つのファイルを入れる。

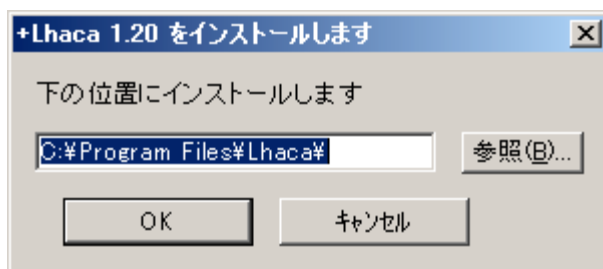
※下の例ではデスクトップ上に、「Download」=>「C 開発環境」=>「Borland\_C\_5\_5」の階層構造でフォルダを作成し、フォルダ「Borland\_C\_5\_5」の中に3つのファイルをいれてある。



## <2> インストールと設定

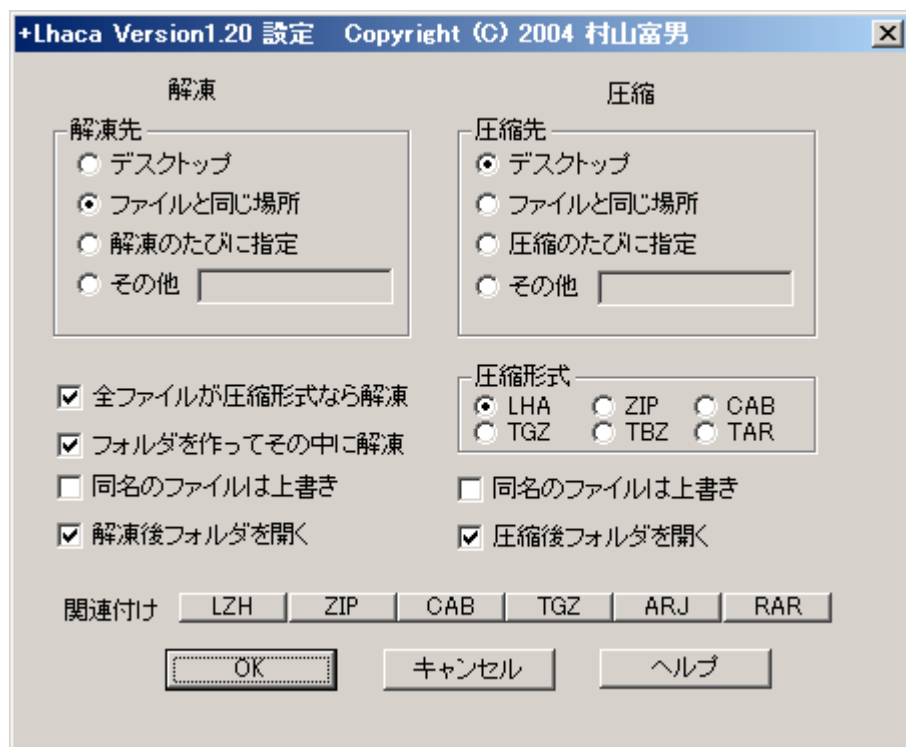
### <2. 1> 圧縮/解凍ソフトのインストールと設定

・「LHACA120.exe」をダブルクリックして、インストーラを起動させ、インストール先を指定する（デフォルトのまま OK をクリックして先に進む）。



・インストールが終了すると、デスクトップ上に「+LHACA」のショートカットが現れ、メモ帳で LHACA の readme.txt が開くので、一通り確認する。

・デスクトップ上の「+LHACA」のショートカットをダブルクリックし、解凍先を「ファイルと同じ場所」に設定する。



## < 2. 2 > Cコンパイラのインストール

・Borland C++ コンパイラ をインストールする。  
・「freecommandlinetools2.exe」をダブルクリックすると、使用条件に対する同意やインストール先のフォルダを尋ねられるので、「使用許諾契約」を読んで「同意する」を、また**インストール先のフォルダを必ずデフォルト (c: ¥borland¥bcc55) のまま**「完了」をクリック。これで、Cコンパイラのインストールが開始する。

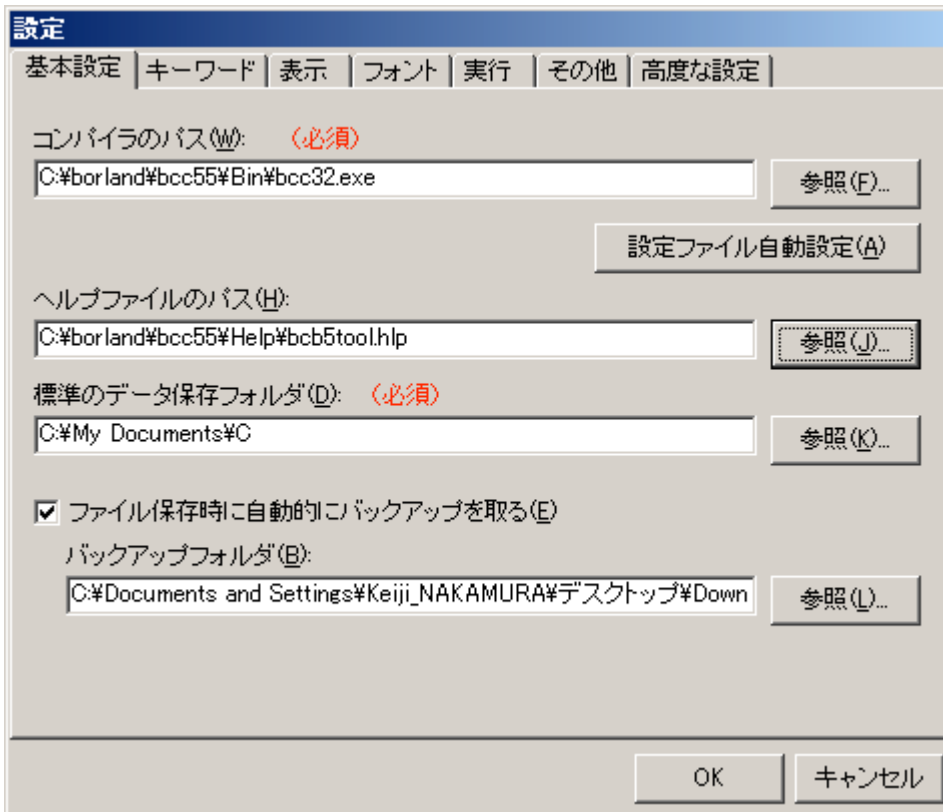
**重要1**：インストール先がデフォルトのフォルダ (c: ¥borland¥bcc55) と異なる場合は、コンパイラは正常に動作しない。

**重要2**：何らかの理由で、デフォルトのフォルダ (c: ¥borland¥bcc55) と異なるフォルダにコンパイラが残っていると、たとえデフォルトのフォルダ (c: ¥borland¥bcc55) に正しくインストールされていたとしても、コンパイラは正常に動作しない。その場合、コンパイラが残っているデフォルト以外のフォルダを丸ごと削除して対処すること。

## < 2. 3 > Cコンパイラ用GUIアダプタソフトの解凍とインストール/設定

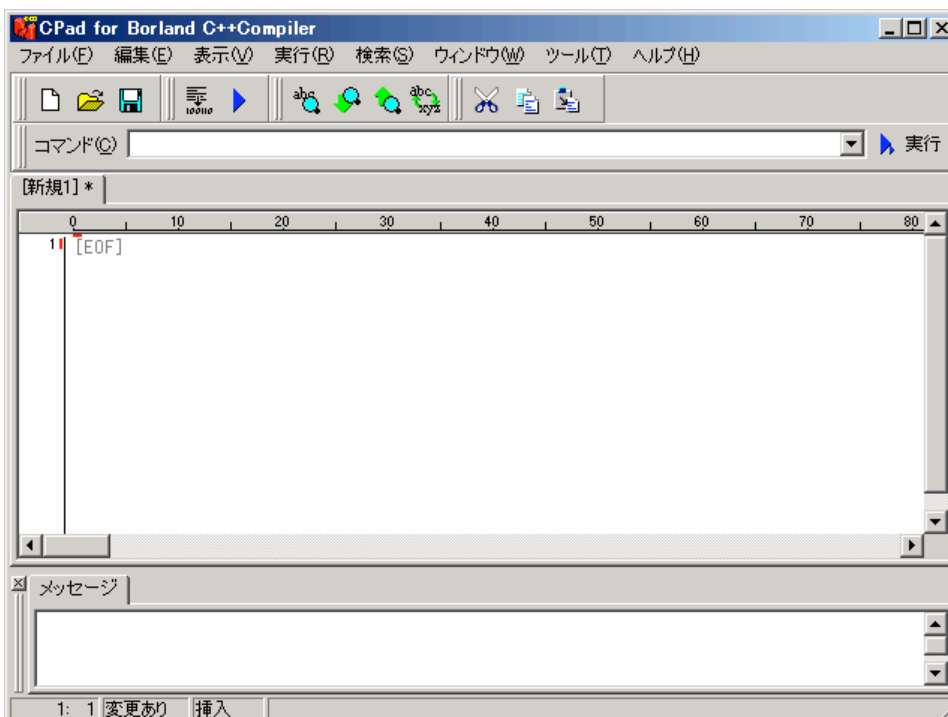
・「Cpad for Borland C++ コンパイラ」をインストールし、設定を行う。  
・デスクトップにある「+LHACA」のショートカットの上に、「bcpad231.lzh」のアイコンをドラッグ & ドロップして解凍すると、同じフォルダ上にフォルダ「bcpad231」が現れる。  
・フォルダ「bcpad231」の中の「bcpad.exe」をダブルクリックすると、「Cpad for Borland C++ compiler」が立ち上がる。

- ・コンパイラなどが格納されているフォルダの場所（パス）を設定する。「コンパイラのパス」、「ヘルプファイルのパス」、「標準のデータ保存フォルダ」のパスを下図の通りに設定する（直接、キーボードから入力する。または「参照」からフォルダを表示させながら指定する）。



この例では、「マイドキュメント」の中にフォルダ「C」が作成され、自分が作成したプログラムはフォルダ「C」に保存されるように設定されている。

- ・上述のパス設定は、最初に Cpad を起動した時に行えば、2 回目以降は行わなくてよい。
- ・最終的に、下のようなプログラム編集画面が現れる。



### < 3 > 本ソフトウェア利用にあたっての注意事項

- ・圧縮／解凍ソフト「Lhaca」は、vector におけるフリーウェアの利用規程に従って利用する。
- ・Cコンパイラ「Borland C++ 5.5 compiler」は、教育機関である「中部大学工学部電気システム工学科」の団体利用として、利用が許諾されている。従って、本学科の情報制御関連分野の教育研究活動の範疇を超える利用はできない。なおそれ以外の利用を個人で行う場合は、ボーランド社のホームページから登録手続きを行うことにより、当該コンパイラの無償ダウンロードサービスを利用できる。詳細はボーランド社のホームページを参照せよ。
- ・GUI 環境アダプタソフト「Cpad for Borland C++ Compiler」は、本来、代金とともに登録が必要なシェアウェアである。ただし教育機関などでのアカデミックな利用に限ってフリーウェアとして使用できる。詳細はCpadをフォルダにあるドキュメントファイルを参照せよ。